

昭和 60 年度言語研修
カンボジア語テキスト 2

カンボジア(クメール)語入門

坂本 恭章 編

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
1985

ページ	誤	正
8 3.16	(追加)	rmu を削除 しかし、否定文には文末に mun ?əncəŋ を使うか 文頭に kraeŋ 文末に rmu を使う。
11 4.5	(追加)	但し、主語を答える時は動詞を略しても可。
13 4.22	(追加)	但し、主語を答える時は動詞を略しても良い。
	(追加)	Q.3 あなたは何を食べますか。 一魚です。
14 4.23	(追加)	ひとつではなくて複数の時は naa khlaŋでたずね、 たとえば bei nih のように答える。
15 5.3	(解説を削除。Q.1をQ.2に変更)	
16 5.8	(追加)	しかし、省略しても良い。
18 5.20	ʔaoi ~	ʔaoi ~ (khpɹm)
20 6.9	つけ加える。	つけ加えることもある。
24 7.4	(解説を訂正)	「クメール語を習いにこの学校に来ました」 はクメール語でも、このままで目的を表わすが、 「この大学で習う・・・」のように「この大学」が 「習う」を修飾すると目的の意味が薄れる。 そして、「努力する」の意味が加わる。
34 9.10	(追加)	
49 13.3	ʔaoi	ʔaoi ʔaoi
50 13.13	の後に場所を	の後の動詞に場所を

昭和60年度言語研修
カンボジア語テキスト 2

カンボジア(クメール)語入門

坂本 恭章 編

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
1985

クメール語入門

1. クメール語文法概説

文 = (主題) + 叙述 + (文末詞)

主題：名詞句

動・形容詞句

前置詞句

叙述：名詞句

(主語) + 動・形容詞句

句の構造：助辞 + 被修飾基本詞 + 修飾基本詞

Q.1 次の日本語をクメール語の語順に直せ。

注意1.日本語の助詞「は」「が」「を」に対応する語はクメール語には無く、語順によって示される。即ち

主題「は」：文頭

主語「が」：動・形容詞の直前

目的語「を」：動・形容詞の直後

注意2. 学校 = 学 + 校

クメール語 = クメール + 語

教えている = 教える

1. 私はこの学校でクメール語を教えている。
2. この学校はクメール語を教えている。
3. この学校ではクメール語を教えている。
4. この学校では私がクメール語を教えている。
5. クメール語はこの学校で教えている。
6. クメール語は私がこの学校で教えている。
7. クメール語はこの学校で私が教えている。
8. 私がこの学校で教えている言語はクメール語だ。
9. 私がクメール語を教えている学校はこの学校だ。

2. 基本語順

2.1 主語は動詞の前に置く。

Q.1 猫 chmaa

食う sii

・猫が食う。

2.2 目的語は動詞の後に置く。

Q.1 魚 trəi

・魚を食べる。

Q.2 ・猫が魚を食べる。

Q.3 私 khɲom

窓 boŋʔuoc

開ける baək

・私が窓を開ける。

2.3 動詞の修飾語は目的語の後に置く。

Q.1 たくさん craən

・猫が魚をたくさん食べる。

Q.2 三 bəi

飼う ceŋcəm

・私は猫を三匹飼っている。

2.4 完了を表す haəi は文末に置く。

Q.1 ・猫が魚をたくさん食べた。

2.5 名詞の修飾語は名詞の後に置く。

Q.1 大きい thom

・大きい猫が魚を食べた。

Q.2 小さい tooc

・大きい猫が小さい魚を食べた。

Q.3 これ nih

・猫がこれを食べた。

Q.4 ・この猫が魚を食べた。

Q.5 ・大きい猫が私の魚を食べた。

Q.6 本 siəwphəw

読む ʔaan

・私が本を読む。

Q.7 クメール khmae

- Q.8 ・私がクメールの本を読む。
 言語 phèesaa
- Q.9 ・私がクメール語の本をたくさん読む。
 勉強する rien
- ・教科書
- Q.10 ・クメール語を勉強する。
- Q.11 ・クメール語教科書
- Q.12 ・私がクメール語教科書を読む。
- Q.13 ・私がクメール語教科書をたくさん読んだ。
- 2.6 節が名詞を修飾する時は間に dael を入れる。
- Q.1 （猫が私の魚を食べた。）
- ・私の魚を食べた猫
- Q.2 ねずみ kondao
- ・私が飼っているねずみ
- Q.3 ・私が読むクメール語の教科書
- Q.4 ・私が開けた窓
- Q.5 彼 koət
- 閉じる bet
- ・彼は私が開けた窓を閉める。
- 2.7 指示詞は名詞修飾語の最後に置く。
- Q.1 ・この大きい猫が私の魚を食べた。
- Q.2 あれ、それ nuh
- ・私の魚を食べたあの大きい猫
- 2.8 しかし dael で導かれる修飾節は指示詞付きの名詞を修飾する
 ことができる。
- Q.1 ・私が読むこのクメール語の教科書
- 2.9 主題は文頭に置く。
- Q.1 ・大きい猫があ魚を食べた。
- ・この大きい猫はあ魚を食べた。
- Q.2 ・あ魚はこの大きい猫が食べた。
- Q.3 ・このクメール語の教科書は私が読む。
- 2.10 動詞句はそのままの形で名詞句として使用できる。
- Q.1 好む cool cət
- ・猫は魚を好む。

- Q.2 非常に nah
- ・猫は魚を食べるのがとても好きだ。
- Q.3
- ・魚を食べるのは猫がとても好きだ。
- Q.4
- ・私はクメール語の勉強がとても好きだ。
- Q.5
- ・このクメール語の本を読むのは私はとても好きだ。
- 2.11 形容詞は動詞と全く同じように使われる。
- Q.1 良い lʔoo
- ・この猫は良い。
- Q.2
- ・魚を食べるのは良い。
- Q.3
- ・魚をたくさん食べるのはとても良い。
- Q.4 太っている thoət
- ・太っているのは良い。
- 2.12 否定辞 mun (やや書き言葉的)
ʔət (話し言葉)
- は否定する語の前に置く。否定文は文末に tèe を置く。
- Q.1
- ・この猫は良くない。
- Q.2
- ・魚を食べるのは良い。猫を食べるのは良くない。
- Q.3 痩せている skòom
- ・太っているのは良い。痩せているのは良くない。
- Q.4
- ・太っているのは私は好き、痩せているのは私は嫌い。
- Q.5 人 mòonuh
- ・太っている人を私は好み、痩せている人を私は好まない。
- Q.6
- ・太っている人は私を好み、痩せている人は私を好まない。
- 2.13 形容詞はそのままの形で動詞を修飾できる。
- Q.1 綺麗だ lʔoo
- 女性 srəi
- 歩く daə
- ・美人が歩く。
- Q.2
- ・女性は美しく歩く。
- Q.3
- ・私はあの美しく歩く女の人が好きだ。
- 2.14 次の文の否定辞の位置に注意せよ。
- Q.1 koət 彼、彼女
- ・ koət daə mun lʔoo
- Q.2
- ・ koət mun daə lʔoo

Q.3 koet sii mun craen

Q.4 koet mun sii craen

2.15 ひとつの文に動詞が複数有っても構わない。動詞の順序はその動作の起こる時間的順序に従うのが原則である。

Q.1 国 srok

行く tèt

習う riæn

・私はカンボジアに行って、カンボジア語を習う。

Q.2 買う tèt

来る mòok

・この本は私が買って来た。

2.16 後の動詞は前の動詞の目的語についての動作のこともある。

Q.1 尽きる ?oh

・あの魚はこの猫が食べてしまった。(魚はもう無い。)

Q.2 怒る khæn

叩く vèei, vai

死ぬ slap

・私は怒って猫を殴り殺してしまった。(=叩いたら死んだ)

3. 疑問文

3.1 「AかBか」という時の「か」は rumu である。

Q.1 ・この猫かあの猫が魚を食べた。

Q.2 水牛 kroubei

盗む luoc

・AかBかが私の水牛を盗んだ。

3.2 rumu が叙述部の方に使われると、疑問文「AかBか」になる。

Q.1. あなた nək

・あなたはこの猫が好きですか、嫌いですか。

Q.2 ・あなたは彼の水牛を盗みましたか、盗みませんでしたか。

3.3 上のQ.1, Q.2の文は厳しく問い詰めている感じである。そうではなくて、単純に質問するには rumu の後を tèe だけにする。

Q.1 ・あなたはこの猫が好きですか。(嫌いですか。)

Q.2 酒 sraa

飲む・食べる(敬語) piisaa

・あなたはお酒をお飲みになりますか。(お見合の時)

3.4 話しかけられた時の返事は

女性は caah

男性は baat である。

Q.1 飲む・食べる(謙譲語) tòotuol tèen

・あなたはお酒を飲みますか。

－はい、飲みます。

－いいえ、飲みません。

3.5 返事の「いいえ」には tèe を使うこともある。(男女共通)

Q.1 ・いいえ、飲みません。

3.6 この tèe は拒絶する時にも使われる。

Q.1 (酒をついでくれようとしている人に)

・いや、私は酒は飲みません。

Q.2 (猫を膝の上にのせられて)

・ヤダー、あたし、猫に弱い。

3.7 rumu tèe の代わりに tèe だけを使うと yes の返答を期待している質問になる。

Q.1 彼、彼女 koet

- 飲む・食べる（親密語） nam
- ・彼はお酒を飲むでしょ。
- Q.2 おいしい chɲaŋ
- ・これ、おいしいでしょ。
- 3.8 したがって、話相手に勧めるのにも使われる。
- Q.1 ・お酒を飲みませんか。
- Q.2 一緒に cèe muoi knèe
- 勉強する riən
- ・一緒にクメール語を勉強しませんか。
 - －はい、勉強します。
 - －いいえ、やめておきます。
- 3.9 3.2 では rum は「好きか嫌いか」と動詞について尋ねているが、目的語について尋ねることもできる。
- Q.1 ・あなたはこの猫が好きですか、あの猫が好きですか。
- 3.10 上の文は「この猫」と「あの猫」との、二つについて質問しているが、「この猫が好きか、それともどれか他の猫が好きか」のように、第二の猫は特定しない場合には、「他の猫」を言う必要がなく、rum で文を終らせてしまう。
- Q.1 ・あなたはこの猫が好きですか。（それとも他の猫？）
- Q.2 コーヒー kaafee
- ・コーヒー（でも）飲みますか。
- 3.11 rum は主語について尋ねることもできるのは勿論であるが、この場合には二つの文にして rum でつなぐ。もしわけなければ疑問文にならない。
- Q.1 兄・姉 boɔŋ
- ・あなたが行くのですか、お兄さんが行くのですか。
- Q.2 ・彼か彼の兄さんが行きます。
- 3.12 「あなたが行くのですか、それとも他の誰かが行くのですか」も rum で終らせれば良い。
- Q.1 ・あなたが行くのですか。（それとも他の誰かが？）
- 3.13 また、rum で終る疑問文は「意外だ」という驚きを表すこともある。この時は質問というよりも感嘆文に近い。
- Q.1 ・あなた、お酒飲むの?!（結婚前は飲まないって言ったじゃないの）

- Q.2 ・君、クメール語なんか習うの?! (先生恐れぜ)
- 3.14 否定の疑問文は *ruu* だけを使い、やはり「驚き、意外」の気持ちを表す。
- Q.1 あなた、魚が嫌いなの?! (日本人じゃ無いね)
- Q.2 愛する *sroolan*
 ・あなた、私を愛していないの?! (焼きいもを買って来い、という脅迫)
- 3.15 ある事柄について述べ、それが真実であるか否かについて質問する、言いかえれば、ある命題についての真偽を問う場合には、*mɛɛn* 〈真実だ〉を使う。*mɛɛn* の後の *ruu tɛɛ*、*tɛɛ* の使いかたは、既に述べたところと同じである。
- Q.1 ・あなたは魚が好きだというのは本当ですか。
- Q.2 ・あなたは魚が好きでしょう。(=好きだ。本当でしょう)
- Q.3 ・あなたは魚が好きなの。
- 3.16 また、*mum mɛɛn ruu* 〈～でしょう、そうではないですか〉を使うこともできる。
- Q.1 ・あなたは魚が好きではないのですか。(好きだ。そうではないのですか)
- Q.2 ・あなたは魚が好きではなかったのではないのですか。(好きではない。そうではないのですか)
- 3.17 これらに対する答は *mɛɛn*、*mum mɛɛn tɛɛ* になるのは当然である。
- Q.1 ・あなたは魚が好き(なの)でしょう。
 - ええ、そうです。
 - いいえ、そうではありません。
- 3.18 *mum mɛɛn* は、命題を否定する、即ち、こうこうだ、と思われていることを、それは違う、という場合に使う。
- Q.1 水 *tuk*
 ・あなた、お酒を飲むの?
 - いいや、お酒を飲むのではない。水を飲むのです。
 - いいや、わたしが飲むのじゃない。猫が飲むのです。
- 3.19 否定文の文末に使われる *tɛɛ* は、本来は相手の誤解を正す時に用いられる語であり、したがって平叙文にも用いることができる(日本語の「～よ」に相当するようである)。

- Q.1 ・いいや、お酒を飲むのじゃない。水を飲むのだよ。
- Q.2 ・いいや、わたしが飲むのじゃない。猫が飲むのだよ。
- 3.20 「～しましたか」は「～したか、それともまだか」の意味であり、*tèe* ではなくて、*nèw* を使う。
- Q.1 猫はもう魚を食べてしまいましたか。
- 3.21 勿論、*rumu* だけの疑問文も可能である。
- Q.1 ・猫はもう魚を食べてしまったの?! (早いね)
- 3.22 「まだ～していない、まだ～しない」は *mum taen ~ tèe*
- Q.1 来る *mòok*
- ・彼は未だ来ない。
- 3.23 文末に *nèw laei* をつけると「未だ依然として～しない」という感じになる。
- Q.1 やめる *lèɛŋ*
- 飲む (普通語) *phək*
- ・彼は未だ酒を飲むのをやめない。(何回も忠告したのに)
- 3.24 *nèw taen ~*はく未だ依然として～している〉の意味である。
- Q.1 ・わたしは未だ彼女を愛している。(一度ふられたのに)
- Q.2 ・君は未だ酒を飲むのかい。(医者がとめたじゃないか)
- 3.25 「～したか」の質問に対して、「～した」は特に問題はない。
- Q.1 飯、食事 *baai*
- ・もう御飯はすみましたか。
- ーはい。もう食べました。
- 3.26 しかし、「まだ」と答える時には、先の *nèw* を使う。
- Q.1 ・もう食事はすみましたか。
- ー未だです。
- 3.27 先に述べた *tèe* を使っても良いことは勿論である。
- Q.1 ・もう御飯すみましたか。
- ー未だです。
- 3.28 クメール語では、動詞に対する「過去」の表示はしない。
- Q.1 昨日 (*pii*)*msəl mən*
- 料理 *?aahaa*
- ・昨日、クメール料理を食べましたか。
- ーはい、食べました。
- ーいいえ、食べませんでした。

3.29 例えば「食べる」という動作は行為者の意志があってはじめて成立し得る動作である。したがって、これを否定にすると、その動作を行う意志が無かったということになる。もし、意志はあったが、何らかの都合でできなかった、という意味の場合には

baan <獲得する>を使って mun baan + V のように言う。

- Q.1 ・昨日、クメール料理を食べましたか。
- いいえ、食べませんでした。

3.30 疑問詞（正しくは不定を表す語）を使う疑問文では語順の変化は起こらない。又、疑問文にするための特別な語も必要ない。

- Q.1 誰 nɛək naa
・誰がお酒を飲むのですか。
- 私です。

- Q.2 何 ʔəvei
・何をお上がりになりますか。
- お酒をいただきます。

3.31 クメール語の名詞は日本語と同様、数の限定がされていない。それで、特に、不定の複数を示したい時には、名詞の後に

khlah を使う。

- Q.1 ・ある猫は（=猫のあるものは）大きい魚が好き、ある猫は小さい魚が好き。

3.22 khlah は疑問詞とともに使用できる。

- Q.1 ・何（々）をお上がりになりますか。（レストランのボーイ）
Q.2 ・誰（々）がお酒を飲みますか。（グラスを取りに行く前）

3.33 上にあげた nɛək naa <誰>、ʔəvei <何> は日本語の「誰」や「何」と同じく疑問詞ではなく、未確定であることを示す語であり、これらの語を含む文を疑問文形にすることができる

- Q.1 ・あなたは何かお上がりになりますか。

- Q.2 ~てもいい - koo baan
助ける cuoi
~してくれ phoonj
・誰でもいい、来て手伝ってくれ。

4. NaはNbです (1)

4.1 「NaはNbです」がNaの属性について述べる場合には「です」には cèə を使う。

Q.1 ・この本はクメール語の本です。

4.2 否定文は cèə の代わりに mun mɛɛn を使う。即ち、 \langle 「NaはNbである」というのは正しくない \rangle という意味である。

Q.1 ・この本はクメール語の本ではない。

4.3 クメール語では日本語と同様に、わかっていることは繰り返さないで省略するが、動詞は省略しないのが普通である。

Q.1 タイ thai, siəm

・この本はクメール語の本ですか、タイ語の本ですか。

Q.2 ・この本はクメール語の本ではありません。タイ語の本です。

4.4 疑問文の作りかたは、他の動詞の場合と全く同じである。

Q.1 ・これはクメール語の本ですか。

4.5 質問に対する返答は質問文の動詞を使って答えるのが原則である。

Q.1 ・あなたは何が好きですか。

－猫です。

Q.2 ・猫が好きなのは誰ですか。

－彼です。

Q.3 ・彼女は猫が好きですか。

－いいえ、好きではありません。

4.6 しかし、「NaはNbですか」という質問に対しては、「はい、そうです」、「いいえ、そうではありません」と答えてもいい。

Q.1 そうです num haəi

・この本はクメール語の本ですか。

－はい、そうです。

Q.2 そうではない mun mɛɛn tɛə

・この本はクメール語の本ですか。

－いいえ、そうではありません。タイ語の本です。

4.7 「～も(同様に)」には koo を使う。文末には dae を置くのが普通である。

Q.1 ・この本はクメール語の本です。それもクメール語の本です。

Q.2 ・彼は猫が好きです。私も好きです。

- 4.8 koo は主題としてしか使えないので目的語に対しては dae を使うか、その目的語を主題化する。
- Q.1 犬 chkae
そして haei
・私は猫が好きです。そして、犬も好きです。
- Q.2 ・私は猫も好きですし、犬も好きです。
- 4.9 「も」を含む否定文では文末の tèe は dae によっておきかえられる。
- Q.1 ・この本はクメール語の本ではありません。その本もクメール語の本ではありません。
- 4.10 「も」が「同様に」の意味がない時には dae は不要である。
- Q.1 ・何も食べない。
- Q.2 ・どの本も読まない。
- Q.3 どこ konlaen naa
・どこにも行かない。
- Q.4 ～もいい koo baan
・どこに行ってもいい。
- Q.5 ・何を食べてもいい。
- Q.6 ・どの本を読んでもいい。
- 4.11 「AはBです」において、Aが指示代名詞の場合、話し言葉では cèe を使わないのが普通である。
- Q.1 ・これはクメール語の本です。
- Q.2 ・あれはクメール語の本ではありません。タイ語の本です。
- Q.3 ・これは何ですか。
ークメール語の本です。
- 4.12 「NaのNb」のように、名詞が名詞を修飾している場合は「Nb+Na」のように、名詞を並べればよいことはすでに述べた。しかし、Naが生物で所有関係を特に明示したい場合には、二つの名詞を ròoboh でつなぐ。
- Q.1 ・クメール語の本
- Q.2 ・私の本
- Q.3 ・これはあなたの本ではありません。私の本です。
- 4.13 日本語の「NaのNb」では、Nbが既知の場合には省略できる。クメール語でも同様である。

- Q.1 ・これはあなたの本ではありません。私のです。
- 4.14 「Nの」に相当する「 ròoboh N」は〈Nの所有物〉という意味にもなる。
- Q.1 ・これは私のです。あなたの物ではありません。
- 4.15 「NaのNb」において、Nbが形容詞を伴っている場合には ròoboh が必要である。
- Q.1 厚い krah
 ・私の厚い本
- Q.2 薄い sdaenj
 ・あの薄い本は誰の本ですか。
- 4.16 「Naの(NbのNc)」の場合には「Naの」の「の」には ròoboh を使うのが普通である。
- Q.1 これは私のクメール語の本です。
- Q.2 これはあなたのクメール語の本ではない。私のです。
- 4.17 日本語では、例えば、「大きい本」→「大きい」のように、名詞がわかっている場合には名詞の代わりに「の」を使うことがある。クメール語の場合には ?aa を使う。
- Q.1 お菓子 nòm
 ・このお菓子はあなたの(もの)です。
- Q.2 小さい tooc
 そうして haei
 ・この小さいお菓子はあなたのもので、この大きいのは私のです。
- 4.18 naa はくどの〜〉という意味である。
- Q.1 ・どの本があなたの本ですか。
- 4.19 「どの〜」が「どのひとつ」の時は muoi <1> をつけることもある。
- Q.1 ・どの本(一冊)があなたの本ですか。
- 4.20 名詞を省略して naa muoi だけでもよい。
- Q.1 ・どれがあなたの本ですか。
- 4.21 naa muoi を引っくりかえして muoi naa でもよい。muoi は〈ひとつ〉であるから、これはくどのひとつ〉に当る。
- Q.1 ・どれがあなたの本ですか。
- 4.22 ある質問に対する返答では質問の動詞を省略しないのが原則であると述べたが、「NaがNbです」の「Nb」が省略されてできる

「Naです」においては、動詞は無く、Naだけでよい。

Q.1 ・誰が魚を食べますか。
- 私です。

Q.2 ・どれがあなたの本ですか。
- それです。

4.23 「どれ」というのは「たくさんあるものの中のどれかひとつ」であるから muoi naa 又は naa muoi と言うのである。したがって、これに対する答の「これ」「それ」「あれ」は、「たくさんあるものの中のくこのひとつくそのひとつくあのひとつ」と言う方が普通である。

Q.1 ・どれがあなたの本ですか。
- これです。

4.24 muoi に形容詞をつけることもできる。

Q.1 ・どれがあなたのお菓子ですか。
- この大きいのです。

4.25 「どれ」が補語の位置に来ると動詞は使わない。

Q.1 ・あなたの本はどれですか。

Q.2 (それでは) ?ɔncɛŋ

日本 capon

・どれがクメール語の本ですか。

- これです。

それもクメール語の本ですか。

- いいえ、違います。

では、タイ語の本ですか。

- いいえ、タイ語の本でもありません。日本語の本です

4.26 「NaとNbとNc」は「Na, Nb num Nc」のように、最後の名詞の前にのみ num を入れる。

Q.1 ~さん lòok, lòok sreɪ, nèəŋ

先生 kruu

しかし pontae

生徒 (koon)seh

学生 nisset

・AさんとBさんとCさんとは先生ですが、DさんとEさんとは先生ではありません。学生です。

5. NaはNbです (2)

5.1 例えば、「私の本はこれです」は「私の本」の属性を述べる文ではない。identifyする文である。このような場合の「です」には kuuu を使う。

Q.1 ・私の本はこの本です。

Q.2 ・これが私が昨日買った本です。

5.2 しかし、代名詞の時は話し言葉では動詞が省略されるのが普通であることは cèe の場合と同じである。

Q.1 ・私の本はこれです。

5.3 ただし疑問文の場合は省略しない。

Q.1 ・あなたの本はこれですか。

－はい、そうです。

－いいえ、そうではありません。

5.4 「あなたがAさんですか」のような文は「あなたは・・・」のようについて。

Q.1 ・あなたが田中さんですか。

5.5 「私がAです」という時には「私は名前はAです」という。もし cèe を使うと「私こそがあの有名なAです」という感じになる。(ただし、相手に「あなたは名前はAですか」と尋ねるのは失礼になる。)

Q.1 ・あなたが山田さんですか。

－いいえ、山田さんではありません。田中です。

5.6 「Aさんはどの方ですか」という文は「どの方がAさんですか」の尋ね方にするのが普通である。

Q.1 ~先生(女性) nèek kruu -

(男性) lòok kruu -

どの方(女性) lòok srèi naa

(男性) lòok naa

・田中先生はどの方ですか。

－あの方です。

5.7 「あの人は誰ですか」という文は単純に名前を尋ねている場合と「何ものだ」と尋ねている場合とがある。後者の場合には動詞 cèe を使う。(kuuu も可)

Q.1 男 proh

・（壇上に並んで坐っている偉そうな人を見て）

あの人是谁なの。

－どの人？

あの男の人。

－あの人（あの有名な）田中さんですよ。

5.8 「日、月、年」についていう「～は～です」の「です」は cèə である。

Q.1 今日 thŋai nih

月曜日 thŋai can

・今日は月曜日です。

Q.2 第～ tii -

・今日は三日です。（話し言葉では tii を入れない）

5.9 日付の語順は日本語と全く逆である。曜日と日付とが重なった場合には後の方の thŋai を省略する。

Q.1 八月 khæ sèihæa

・今日は八月三日月曜日です。

5.10 クメール語の動詞には「時制」を示す語が無い（詳しくは後述する）

Q.1 昨日 msəl mən

・昨日は二日でした。

Q.2 明日 sʔæek

・明日は五日ですか。

－いいえ、違います。四日です。

5.11 「一年は何日ですか」は「何日あるか」の意味であり、mèən を使う。

Q.1 ～年 - chnam

いくつ ponmaan

～月 - khæ

・一年は何か月ですか。

－十二か月です。

Q.2 ～日 - thŋai

・一か月は何日ですか。

－三十日か三十一日です。二月は二十八日か二十九日です。

5.12 時間について言う時には、動詞は不要である。

- Q.1 今 ʔəiləw(nih)
 ～時 maoŋ -
 ・今何時ですか。
 - 十時です。
- Q.2 朝 pruk
 ・午前十時です。
- 5.13 「～分」は ～nəətii で、「時」の後に置く。
- Q.1 ・午前十時二十分です。
- Q.2 半分 konlah
 夜 yòp
 ・夜の十時半です。
- 5.14 「～分前」と言うには khvah - <～が足りない> を使って
 「～分足りない～時」のように言う。この時 pruk, jòp 等は
 使わない。
- Q.1 ・午後十時二十分前です。
- 5.15 「これはいくらですか」は「これは価格はいくらですか」のよ
 うに言う。
- Q.1 価格は～だ thlai -
 ・これはいくらですか。
- 5.16 数える時の単位は数詞の後に置く。
- Q.1 ～円 jen
 ・これは何円ですか。
- 5.17 値段のことだとわかっている時には thlai は略してよい。
- Q.1 ・これはいくらですか。
 - 三百円です。
- 5.18 「ひとつ百円」のような価格の単位は「ひとつが価格は百円」
 のように言うが、thlai は省略してもよい。
- Q.1 りんご paom
 みかん krooc
 キログラム kiiloo(kraam)
 では～のほうは? coh - vuŋ
 ・このりんごはいくらですか。
 - それはひとつ百円で、これは三つ二百五十円です。
 では、そのみかんは?

一キロ百六十円、二キロ三百円です。

5.19 買物の時の「～を下さい」は jòok <to take>を使って、
〈私は～をとる〉のように言う。

Q.1 では ʔɔncəŋ
 と nɯŋ
 全部 tɛəŋ ʔəh

- ・では、このりんごを三つと、そのみかんを二キロ下さい。
- －はい、全部で五百五十円です。

5.20 あるいは、ʔaɔi <与える>を使って、ʔaɔi ~ のようにも
言う。これは「～を与えよ」という命令文で、文末に phoŋ を
つけて、お願い文にすることもある。

Q.1 バナナ ceek
 ～もして下さい phoŋ

- ・そのバナナを下さい。

5.21 相手の好意を求めている時には som + N と言う。

Q.1 冷たい troocèək
 水 tuk
 コップ kaew

- ・（客が主人に）冷たい水を一杯下さい。

Q.2 お母さん mae

- ・お母さん、お金を少し下さい。

5.22 文末に baan tèe <いいですか> をつけると、丁寧になる。

Q.1 ・冷たいお水を一杯いただけますでしょうか。

Q.2 ・お金を少し下さいませんか。

6. NaはNbです (3) 所在、存在
- 6.1 道に迷って尋ねる時の「ここはどこですか」は地名を尋ねている。
- Q.1 場所 konlaen
 ・ここはどこですか。
 - 西が原です。
- 6.2 列車で寝すごして見知らぬ町に着いた時の「ここはどこですか」の「ここ」は「この町」とか「この駅」の意味である。クメール語では、単に「ここ」と言わずに、「この町」とか「この駅」のように、尋ねるべき名詞を明示するのが普通である。
- Q.1 市 kroy
 ・ここはどこですか。
 - 仙台です。
- Q.2 通り thnol
 知る daj
 ・この通りは何通りですか。
 - 私も知りません。
- 6.3 場所の名前を教えるのでなくて説明をしたい時には cèe を使っている。
- Q.1 ここ tii nih
 ブノンペン phnòm pèn
 ・ここはブノンペンです。
- 6.4 日本語では「ここ」を使うがクメール語では「ここ」と言わない場合があるから気をつける必要がある。
- Q.1 大学 mōohaavityèlai
 ・ここはA大学です。
- 6.5 「トイレはどこですか」は「どこに在るか」の意味である。
- Q.1 ~に在る nèw
 トイレ boŋkwòn
 どちら ?ae naa
 あちら ?ae nuh
 こちら nih
 ・トイレはどちらですか。
 - あちらです。

0.2 図書室 pannaalai
 第～ tii -
 階 coən

- ・図書室はどこですか。
 - 三階です。

0.3 部屋 bontòp
 勉強する riən
 朝鮮 kooree
 トイレ bontòp tuk
 前 muk

- ・ここはクメール語の教室ですか。
 - いいえ、違います。朝鮮語の教室です。
 では、クメール語の教室はどこですか。
 - あそこです。トイレの前です。

6.6 nèw <～に在る> は生物にも使うことができる。

Q.1 今 ?əiləw(nih)

- ・田中さんは今どこにいますか。
 - 図書室にいます。
 図書室はどこにありますか。
 - 三階です。

6.7 「いる／ある」が存在を示す場合には mèn を使う。存在物は mèn の後に来る。

Q.1 机 tok
 上 lèə
 何 ?əvəi

- ・机の上に何がありますか。
 - 一本があります。

6.8 存在場所を示す「に」には nèw を使う。

Q.1 ・机の上には何が在りますか。
 - 一本があります。

Q.2 猫 chmaa

- ・猫はどこにいますか。
 - 机の上にあります。

6.9 存在物が生物の場合には、その名詞の後に nèw をつけて

「現在、そこにいる」という意味をつけ加える。

Q.1 誰 nɛək naa

- ・今、図書室には誰がいますか。
－田中さんがいます。

Q.2 一人 mnɛək

- ・今、図書室には誰かいますか。
－いいえ、誰もいません。
－はい、います。

誰がいますか。

－田中さんです。

山田さんもいますか。

－いいえ、山田さんはいません。

Q.3 下 kraom

- ・机の上にはあなたの本があります。私のは机の下です。

6.10 「所有」にも mɛən を使う。

Q.1 兄姉 boon

弟妹 pʔoon

- ・私はきょうだいが三人います。

Q.2 お金 lui

- ・あなたは今お金を持っていますか。

6.11 次のようなものにも mɛən を使うことができる。

Q.1 試験する proolboon

- ・明日、この教室でクメール語の試験がある。

7. 「に」 場所、時、等

7.1 移動を表す動詞の目的地は、その動詞にとっては必須の成分であり、クメール語では、動詞のすぐ後、即ち目的語の位置に（前置詞なしで）置いてよい。

Q.1 学校 saalaa riən
行く tèt
・学校に／へ行く。

Q.2 中 knoŋ
入る cool
・教室の中に入る。

Q.3 外 kraw
出る ceŋ
・外に出る。

Q.4 ・教室の外に出る。

7.2 移動を表す動詞の後に tèt 〈行く〉 mòk 〈来る〉 をつけて話し手から見ての移動の方向を示すことがある。tèt を使うと話し手から遠去かることを示す。

Q.1 ・入っていく。

Q.2 ・教室の中に入っていく。

7.3 mòk を使うと近づくことを示す。

Q.1 ・教室の中に入ってくる。

7.4 授与動詞の「与える」「教える」の間接目的語は直接目的語の後である。

Q.1 彼／彼女 koət
教える boŋriən
・私は彼にクメール語を教える。

Q.2 父 ?əwpuk
時計 nèəlikaa
与える ?aoi
・父は私に時計をくれた。

7.5 「送る」はクメール語では目的語を二つとることができないので、間接目的語の前に ?aoi 〈与える〉が必要である。即ち、「～を送って～に与える」という表現をとるのである。

Q.1 みかん krooc

- 送る phnae
- ・私は彼女にみかんを送る。
- 7.6 前述の tɛw, mòok を使って、動作の方向を示すこともできる。
- Q.1 ・彼は私にみかんを送ってくる。
- Q.2 ・父は私に時計をくれる。
- Q.3 ・彼は私にクメール語を教える。
- 7.7 「黒板に字を書く」の「黒板」は、物を受け取る人ではなくて「場所」である。このような場合には「黒板の上に書く」のように言う。「上、下、中、外」などの前には前置詞は不要。
- Q.1 黒板 kdaa khien
 字 ?aksɔɔ
 書く sɔɔsee
 上 lɛə
- ・黒板に字を書く。
- Q.2 お金 lui
 ポケット haopaw
 入れる bɔɔcool
- ・金をポケットに入れる。
- 7.8 動作の行われる場所を示すには前置詞 nɛw <～で> を使う。
- Q.1 大学 mòohaavitjèəlai
- ・私はこの大学でクメール語を習う。
- Q.2 (不特定の)人(々) kɛə
- ・この大学ではクメール語を教えている。
- Q.3 読む ?aan
- ・彼はこの部屋で本を読む。
- Q.4 ・教室で黒板に字を書く。
- 7.9 時間を表す「に」には nɛw を使う。
- Q.1 生まれる kaət
- ・私は八月に生まれた。
- Q.2 年 chnam
- ・私は1960年に日本に来た。
- Q.3 ・彼はここに三時に来た。
- 7.10 今(日、週、月、年)、来(日、週、月、年)のような語は前置詞を必要としない。

- Q.1 後 kraoi
 ・私は来年クメール語を習う。
- Q.2 ・今年はクメール語を習いますが、来年はタイ語にします。
- 7.11 時間の長さをいう場合には前置詞が不要なことは既に述べた。
- Q.1 ・私はクメール語を三年習った。
- 7.12 昨(日、週、月、年)、一昨(日、週、月、年)のような、過去を表す語には、前置詞 *pii* をつけることがある。
- Q.1 去年 chnam tèt
 国 srok, prootèh
 ・私は去年カンボジアに行った。
- Q.2 いつ(過去) *pii ?ɔŋkaal*
 日本 capon
 昨日 msəl mən
 ・あなたはいつ日本に来ましたか。
 - 昨日来ました。
- Q.3 いつ(未来) *?ɔŋkaal*
 ~するつもりだ nmŋ -
 明日 s?aek
 ・あなたはいつカンボジアに行きますか。
 - 明日行きます。
- 7.13 「~しに行く/来る」という目的を表すには *tèt / mòok + V* でよい。
- Q.1 ・私はクメール語を習いに来ました。
- 7.14 「クメール語を習いにこの大学に来た」のように「来る/行く」が場所を伴っている時には「~に来て/行って~する」の意味にもなりうるので、このような場合には「この大学でクメール語を習うために」のように、「習う」の修飾語にすれば、目的であることがはっきりする。
- Q.1 ・私はクメール語を習いにこの大学に来ました。
- Q.2 魚 trəi
 買う tən
 市場 phsaa
 ・市場に魚を買いに行く。
- 7.15 引用の「と」は *thaa* で表す。

- Q.1 易しい sruol
 言う niijèei
 ・彼はクメール語は易しいと言った。
- Q.2 告げる prap
 ・彼は私にクメール語は易しいと言った。
- 7.16 引用文は間接話法にする。
- Q.1 ～しなければならない trow -
 ・彼は私に「私はクメール語を勉強しなければならない」と言った。
- Q.2 ・彼は私に「あなたはクメール語を勉強しなければならない」と言った。
- Q.3 ・彼は私に、あなたはクメール語を勉強しなければならない、と言った。
- 7.17 「～だそうだ」という伝聞は「私は～と聞いた」「人々は～と言っている」のように言う。
- Q.1 聞える lmu
 ・クメール語は易いそうだ。
- Q.2 人々 kèe
 難しい piibaak
 ・クメール語は難しくないそうだ。

8. アスペクト

8.1 クメール語の動詞には、「時制」を表す語は無いことはすでに述べた。

Q.1 山 phnòm
・私は富士山を見に来ました。

Q.2. 昨日 msəl məp
映画 kon
・昨日映画を見に行きましたか。
- はい、行きました。
- いいえ、行きませんでした。

8.2 しかし、はじめはそうする意志があったが、何かの都合で行けなかった場合には baan <獲得する> を用いて mun baan + V のように言う。

Q.1 ・ - いいえ、行きませんでした。(行けませんでした)

8.3 この形は勿論未来にも使える。

Q.1 明日 sʔaek
・明日は来られません。

Q.2 ・明日は来ません。

8.4 「完了」を表すには文末に haei を使うことはすでに述べた。

Q.1 汽車 ròotèh phlèəŋ
・汽車が来た。

Q.2 御飯 baai
・もう御飯はすみしましたか。
- はい、すみしました。
- いいえ、まだです。

8.5 「まだ食べません」と「まだ食べていません」とは違う。後者には baan を使えばよい。

Q.1 ・まだ食べていません。

8.6 (ある時点から見て)「将来」を表すには num + V を使う。

Q.1 彼は今日ここに来ます。

8.7 随意動詞と共に用いると(随意動詞はその動作を行う意志が無ければ行うことはできないわけであるから)その動作を行う意志があることを示すことがある。

Q.1 ・私は明日来ません。

- Q.2 思う kut
 買う tèn
 しかし pontae
 ～が無い kmèən
- ・昨日、本を買おうと思ったが金が無かった。
- 8.8 しかし、動作者が話し手以外の場合には（話し手が他人の意志がわかるはずが無いのだから）意志は表さない。 numj が無い文に比べて、その動作が起こることについて、やや不確実であるというニュアンスを持つ。
- Q.1 ・彼は明日来ます。
- 8.9 （蛇足）「彼は明日来るでしょう」は推量を表しているから
 proohaël cèe + V を使う。
- Q.1 ・彼は明日来るでしょう。
- Q.2 暑い kdaw
 ・明日は暑いでしょう。
- 8.10 しかし、真黒に日焼けして帰って来た人に、「カンボジアは暑かったでしょう」と「そういう様子をしている」と言う時には
 baep <型>、 m̀èel t̀èw <見たところ> を使って
 baep - (m̀èel t̀èw) のように言う。
- Q.1 大変 nah
 ・カンボジアは大変暑かったでしょう。
- 8.11 現在進行中であること、あるいは、ある状態にあることを示すには kompuŋ + V を使う。
- Q.1 ・今食事中だ。
- Q.2 ・今食事中ではありません。
- Q.3 綺麗な l'ə̀ə
 家 pht̀èh
 建てる sɔŋ
 ・彼は今綺麗な家を建てている。
- 8.12 nèw <住んでいる> thoet <太っている> sroolah <晴れている> viəc <曲がっている> 等は、動詞自体が状態を表しているので kompuŋ は使わない。
- Q.1 ・彼は東京に住んでいる。
- Q.2 妹 p'ə̀on srəi

- 瘦せている skòom
- ・私は瘦せているが、妹は太っている。
- Q.3 道 phləw
- ・この道は曲がっている。
- Q.4 空 mèek
- ・今日は空が晴れている。
- 8.13 「～してある」に相当する特別な表現はなく「～した」と同じである。
- Q.1 ・この家は奇麗に建ててある。
- 8.14 しかし「AとBしてある」は mèn <有る> を使って、「AとBしたのがある」のように言うことができる。
- Q.1 紙 kroodaah
- 文法 vèijjèekoo
- ・この紙にクメール語文法と書いてある。
- Q.2 ・クメール語文法と書いた紙がある。
- 8.15 mun tən + V はVが未だ生じていないことを示す。
- Q.1 学校 saalaa riən
- ・未だ学校に行かない。
- Q.2 清潔な sʔaat
- ・(洗っていて)未だきれいにならない。
- 8.16 V + nèw laəi は未だ依然としてVの状態にあることを示す。
- Q.1 寝る deek
- ・彼は未だ寝ている。
- Q.2 起きる kraok
- ・彼は未だ起きない。
- Q.3 ・未だ学校に行かない。
- 8.17 nèw + V も未だVの状態にあるという意味である。
- Q.1 ・彼は未だ寝ている。
- Q.2 シャツ ʔaaw
- ・このシャツは未だきれいだ。
- 8.18 nèw tae + V は「しつこくVをつづける」の意味である。
- Q.1 飲む phək
- ・(医者が止めろと言ったのに)彼は未だ酒を飲む。

- Q.2 ・（もう十日も着ているのに）このシャツは未だきれいだ。
- 8.19 hiəp numj + V はVが始まりかけていることを示す。
- Q.1 ・私は今学校に行くところです。
- 8.20 tɛəp numj + V はVが終わったばかりであることを示す。
- Q.1 到着する dol
- ・私は日本に来たばかりです。
- 8.21 dael + V は「経験」を表す。
- Q.1 ・あなたはカンボジアに行ったことがありますか。
- －はい、一年いました。
- －いいえ、行ったことはありません。
- 8.22 平叙文は、そのまま命令文として使用される。誤解の恐れがない場合には主語は省略される。
- Q.1 ・行け！
- Q.2 ズボン khao
- 洗濯する baok
- 皿 caan
- 洗う lèəŋ
- ・Aは洗濯をし、Bは皿を洗いなさい。
- 8.23 命令文は文末に tɛw を入れることもある。
- Q.1 ・この皿を洗いなさい。
- 8.24 文末に coh をつけると、相手にとって望ましいことを相手にすすめる、又は、相手がするのをみとめる意味を持つ。
- Q.1 そうぞ～ ?ɔŋcəəŋ
- ・どうぞお入り下さい。
- Q.2 食事 baai
- ・先生、どうぞお食事になさって下さい。（私はこれで失礼致しますので）
- 8.25 「som + 名詞」は「～を下さい」の意味であることはすでに述べた。この som は動詞とも使うことができ、「～して下さい」という「お願い」になる。
- Q.1 お母さん! mae
- お菓子 nòm
- 買う tèn
- ・お母さん、このお菓子を私に買って下さい。

- 8.26 この「som + V」は「(私に) ~させて下さい」の意味にもなる。
- Q.1 家 phtɛəh
 帰る troolop
 ・家に帰らせて下さい。
- Q.2 ちょっと bontec
 質問する suo
 ・ちょっと、おうかがいしたいのですが・・・。
- 8.27 しかし、本来は som の後の動作は相手の動作であるので、自分の動作を求める場合、即ち、「~させて下さい」には
 som ?aoi khnom + V とするとはっきりする。?aoi は後に述べる使役構文を作る語で「私に~させて下さい」の意味になるわけである。
- Q.1 ・私に行かせて下さい。
- 8.28 som は元来は〈乞う〉という意味の動詞である。一方 phoon は「お願い」文を作る文末詞であり som と共起できる。
- Q.1 ・お母さん、お菓子を買って下さい。
- Q.2 ・家に帰らせて下さい。
- Q.3 救ける cuoi
 ・救けてくれ!
- 8.29 禁止「~するな」は kom + V である。前に som を使ってもよい。
- Q.1 ・行くな!
- Q.2 ・行かないで下さい。
- 8.30 haam は〈禁止する〉という意味で、haam (+N) + V, 又は haam mun ?aoi (+N) + V として使う。
- Q.1 タバコ baarəi
 (タバコを) 吸う cwòk
 ・禁煙
- 8.31 文頭に coo (cool とも発音される) を置く命令文は書き言葉的である。
- Q.1 ・入れ。
- Q.2 ・入るな。
- 8.32 ~ baan tè は〈~してもいいですか〉と許可を求めるのに

使われる。これを命令文の後につけると、形の上からは命令文が質問文になり、相手の意向を尋ねることになり、一方的な命令ではなくなるので、より語調の柔らかい命令文となる。

- Q.1 ~といっしょに cèə muoi -
 ・私といっしょに行ってくださいでしょうか。
- 8.33 ただし、禁止の命令文に使うと、批難のニュアンスを含むこと
 なる。
- Q.1 更に tiet
 ・もう、私に会いに来ないでいただけますでしょうか。
- 8.34 「(我々は)~しよう」には、文末に rum jèəŋ をつける。
- Q.1 映画 kon
 ・映画を見に行こう。
- 8.35 あるいは、 kut <考える> 又は ròok <探す、求める> を
 使って、「我々は~することを考えたら/求めたらどうだ」とい
 う言い方をする。(文末は rum ?)。なお、文頭に mec <どう
 だ> をつけることもある。
- Q.1 ・映画を見に行こう。
- 8.36 「~するのはやめよう」という否定のさそいでは mun の代り
 に kom を使い、文末に ?ei をつける。
- Q.1 ・映画を見に行くのはやめよう。

9. 形容詞

9.1 クメール語の形容詞は、その用法上は動詞と区別する必要はない。

Q.1	机	tok
	大きい	thom
	しかし	pontae
	新しい	thmæi

- あなたの机は大きいですか。
- いいえ、私の机は大きくはありません。ですが、新しいです。

Q.2	小さい	tooc
-----	-----	------

- あなたの机は大きいですか、小さいですか。
- 小さいです。

Q.3	そして	haæi
	学生	nisset

- この大きい机は先生の机で、小さいのは学生のです。

Q.4 • 大きくない机

Q.5	どんな	jaanj dooc mdac
-----	-----	-----------------

- 山田さんの家はどんな家ですか。
- 大きくて新しい家です。
- 大きいですが新しくありません。

Q.6	日	thjai
	～中	pèn
	暑い	kdaw

- 昨日は一日中暑かった。

Q.7 • 今日中暑い。

Q.8 • 明日中暑いです。

Q.9 • 明日中暑いでしょう。

Q.10	全然～でない	mum - soh
------	--------	-----------

- 昨日は全然暑くなかった。

Q.11	あまり～でない	mum səw - tèe
------	---------	---------------

- 昨日はあまり暑くなかった。

9.2 「多い、少ない」は「たくさん／少しある」のように言う。

Q.1	外国	boorootèeh
-----	----	------------

- 人 cwòn
 たくさん craen
 クラス thnak
- Q.2
 ・私のクラスには外国人が多い。
 ～人 cwòn cèet
 少ない təc
- 9.3
 cèəŋ ～ はく～よりも〉である。
- Q.1
 おいしい chjan
- Q.2
 ・これはあれよりもおいしい。
 習う riən
 教える。 boŋriən
 楽しい sroonok
- 9.4
 cèəŋ の後はなにもなくてもかまわない。
- Q.1
 どちら naa
 難しい piibaak
 答える chlaei
- Q.2
 ・クメール語とタイ語とではどちらの方が難しいですか。
 ークメール語です、とタイ人が答えた。
 良い l'oo
- ・あなたはクメール語を習う方が（他の言語を習うよりも）いい。
- 9.5
 「彼女は私よりも食べる」という文で比較されているのは「食べること」ではなくて、食べる「量」である。
- Q.1
 しかし pontae
 痩せている skòom
- ・彼女は私よりも食べる。しかし痩せている。
- 9.6
 「最も～だ」にはいろいろな言い方がある。
- Q.1
 （他の）人々、もの kèe
- Q.2
 ・これは他のものよりおいしい。
 全部（を尽して） boŋ'oh
- Q.3
 ・これは他のもの全部よりもおいしい。
 最も bomphot

- ・これが最もおいしい。
- 9.7 同程度の言い方にもいろいろある。
 - Q.1 同程度の pon
 - ・これはあれと同じにおいしい。
 - Q.2 匹敵する smae
 - 高い khpwòh
 - 互いに knèe
 - ・私と彼とは同じ背の高さだ。
 - Q.3 ．これはあれと同じ位のおいしさだ。
- 9.8 上の例の否定は注意を要する。
 - Q.1 dol 達する
 - nih mun chjan dol/smae/pon nuh tè
 - Q.2 dooc 同じ
 - nih mun chjan dooc nuh tè
 - nih mun chjan dooc tae nuh dae
- 9.9 形容詞はそのままで動詞を修飾できることはすでに述べた。
 - Q.1 速い lwen
 - 走る rwòt
 - ・速く走る。
 - Q.2 早い chap
 - 寝る deek
 - ・早寝する。
- 9.10 上の例で形容詞の前に jaan を入れると意味が強まる。
 - Q.1 ．速く走る。
 - Q.2 ．早寝する。
- 9.11 上の 9.6とは逆に動詞が形容詞を修飾することもできる。
 - Q.1 易しい sruol
 - 習う riën
 - ・クメール語は習うのが易しい。
 - Q.2 眠る lwòk
 - ・彼は寝るとすぐ眠る。(ボタンキュー)
- 9.12 修飾語を伴っている形容詞が名詞を修飾する時には修飾節のサインである dael を介在させることは動詞の場合と同じである。
 - Q.1 クラス thnak

有能な puukae
学生 nisset

・このクラスで一番よくできる学生はこの人です。

9.13 形容詞が単独の場合でも dael を使ってもかまわない。つまり一語からなる節とみなすことができるからである。

Q.1 美しい lʔoo
女性 srəi

・美しい女性

(注) 正確に言うと dael がある時と無い時とでは意味が少し違う。 dael があれば句、無ければ一種の複合語と考えられるようである。

9.14 クメール語では同一名詞を反復させ「～達」という意味にすることがある。

Q.1 ・ srəi srəi

Q.2 kmeenj 子供

・ kmeenj kmeenj

9.15 同様に形容詞を反復させると、その形容詞で表される状態の程度がいろいろあるという意味になる。

Q.1 ・ srəi lʔoo lʔoo

Q.2 ・ ʔaahaa chɲan chɲan

9.16 クメール語では、「暑い～暑がる」のような区別をしない。

Q.1 暑い kdaw

・私は暑い。

Q.2 ・彼は暑がっている。

Q.3 ～したい coŋ -

・彼はカンボジアに行きたがっている。

9.17 「～くなる」には二つの意味がある。ひとつは程度が増すことであり、この場合には、形容詞 + laeŋ を二回くりかえす。

Q.1 毎～ roeɭ -

・毎日毎日暑くなる。

9.18 あるいは、 kan tae - laeŋ とも言う。

Q.1 塩 ʔombel

少し bontec

入れる dak

- おいしい chɲaŋ
- ・塩を少し入れるとますますおいしくなる。
- 9.19 第二は、その状態が新しく生じることであり、この場合には
laəŋ ～と言う。
- Q.1 ・塩を少し入れるとおいしくなる。(今はまずい)
- Q.2 ・この本を読んでカンボジアに行きたくなった。
- Q.3 寒い rəŋɲèe
- ・昨日は暑かった。しかし今日は寒くなった。
- 9.20 あるいは、noəm ʔaɔi ～く～をひきおこす> を使うこともで
きる。
- Q.1 ・塩を少し入れるとうまくなる。
- Q.2 ・この本を読むとカンボジアに行きたくなる。
- 9.21 「～くなくなる」には、lèɛŋ <中止する> を使って、
lèɛŋ V と言う。
- Q.1 ・この本を読んでカンボジアに行きたくなくなった。
- 9.22 完了を表す haɛi が形容詞と共に使われることがある。この時
は、もう十分にその状態に達しているということを表す。
- Q.1 甘い phʔaem
砂糖 skoo
- ・もう充分甘いよ。砂糖はもう入れるな。
- Q.2 着る pèək
- ・その服を着て充分美しいよ。(新しいのはいらないよ)

10. 「で、と、から、まで」

10.1 場所を表す「で」には *nèw* を使うことは前述した。

Q.1 生まれる *kaət*
・私はカンボジアで生まれた。

Q.2 部屋 *bontòp*
中 *knəŋ*
・部屋の中で本を読む。

Q.3 黒板 *kdaa khiən*
上 *lèə*
字 *?aksəə*
書く *səəsee*
・教室で黒板に字を書く。

10.2 数詞と共に使われている「で」はクメール語では前置詞を使わないことが多い。

Q.1 死ぬ *slap*
年齢 *?aayə?*
～才 *chnam*
・彼は六十才で死んだ。

Q.2 買う *tən*
・私はこれを千円で買った。

10.3 時の経過を示す「で」は、「あと～たつと」のように言う。

Q.1 あと～ *- tiet*
・あと三日で彼が来る。

Q.2 居る *nèw*
・彼はここにあと三日居る。

10.4 「道具」を表す「で」には *nmŋ* を使う。

Q.1 鉛筆 *khmaw dai*
・鉛筆で書く。

Q.2 手紙 *sombot*
・鉛筆で手紙を書く。

10.5 「材料」は *pii* であるが、話し言葉では *nmŋ* も使う。

Q.1 木材 *chèə*
・机は木で作る。

10.6 「原料」は *?əmpii* であるが *pii* でもよい。又、*daoi* も使

われる。

- Q.1 バター bèe
 牛 kòo
 乳 dòh
 水 tuk
 ・バターは牛乳で作る。
- 10.7 jòok + 名詞 + V という構文もよく使われる。
- Q.1 鞭 ròmpoət
 叩く vèei, vai
 ・鞭で叩く。
- Q.2 ・木で机を作る。
- 10.8 「原因・理由」を表すには daoi が使われる。
- Q.1 癌 m̀òohaariik
 ・彼は癌で死んだ。
- Q.2 病気 c̀òmŋu
 ・彼は病気で来ない。
- 10.9 「乗物」を表すには daoi であるが、taam でもよい。
- Q.1 飛行機 k̀oopal hoh, jẁòn hoh
 ・飛行機で来る。
- Q.2 船 k̀oopal
 ・私は船で日本に来ました。
- 10,10 「手段」を表すには taam を使う。
- Q.1 飛行機 jẁòn hoh
 父 ?əwpuk
 送る phnəe
 ・航空便で父に手紙を出した。
- 10.11 「よりどころ」も taam である。
- Q.1 時計 nèelikaa
 午後 ròosiəl
 ・私の時計ではもう午後一時だ。
- 10.12 名詞と名詞とをつなぐ「と」は nm̩ であることは前述した。
- Q.1 いっしょに c̀èe muoi knèe
 ・父と兄とはいっしょに日本へ来た。
- 10.13 「～と共に」の意味の「と」は c̀èe muoi ～である。

- Q.1 ・私は父と日本へ来た。
- Q.2 ・私は父と兄と共に日本へ来た。
- 10.14 動作の向けられる対象の「と」及び「に」は num である。
- Q.1 会う cuop
- ・私は彼とブノンペンで会った。
- Q.2 壁 cèncèŋ
- ぶつかる twòŋkèc
- ・私は壁にぶつかった。
- 10.15 「互いに」の意味の「と」は cèe muoi である。
- Q.1 結婚する riəp kaa
- ・私は彼女と結婚する。
- 10.16 「互いに」には knèe を使う。
- Q.1 ・AとBとが衝突した。
- Q.2 愛する srəoləŋ
- ・AとBとは愛しあっている。
- 10.17 始点「から」を表すには pii を使う。
- Q.1 ・私はカンボジアから来ました。
- Q.2 遠い chŋaai
- ・私の家は学校から遠い。
- Q.3 バス laan chnuol
- ・バスから下りる。
- Q.4 階段 cwòndaə
- ・階段を下りる。
- 10.18 「原料」を表すには ʔəmpii 又は pii を使うことは前述した。
- Q.1 紙 kroodaah
- ・紙は木から作る。
- 10.19 「まで」には dol を使う。
- Q.1 夜 jòp
- ・私は夜七時から十時まで勉強します。
- 10.19 しかし、距離について言う場合には təw を使う。「～に行くには」である。
- Q.1 キロメートル kiiloomaet
- ・東京からブノンペンまで何キロメートルありますか。
- 10.20 「～から～までずっと」には taŋ pii ~ rəchoot dol ~

という言い方がある。

Q.1 昨～ me:n

・昨夜は七時から十時までずっとクメール語を勉強していた。

10.21 「AとBとの間」には conloh A num B を使う。

Q.1 ・私は三時と四時との間にここに来ます。

Q.2 ・名古屋は東京と京都の間にあります。

10.23 前置詞つきの名詞句が動詞の直後にあるとき、誤解の生じる恐れのないときには、その前置詞を省略することがあるから注意が必要である。

Q.1 バス laan chnuol

・バスで大阪に行く。

Q.2 ・バスで行く。

11. 「が＋形容詞／自動詞」、疑問詞、等
- 11.1 日本語で「～が＋形容詞」という構文がクメール語では V + N の形になるものがある。
- Q.1 好きだ cool cət
 ・私はカンボジアのお菓子が好きだ。
- Q.2 欲しい coŋ baan
 ・カンボジアのお菓子が欲しい。
- Q.3 ～たい coŋ -
 ・カンボジアのお菓子が／を食べたい。
- 11.2 同様に「が＋動詞」が V + N になるものもある。
- Q.1 大きい thom
 家 phtəəh
 見える khəəŋ
 ・大きい家が見える。
- Q.2 声 somleəŋ
 聞える lɯm
 ・彼の声が聞える。
- 11.3 身体の部分について言う「AはBがC」はそのままでよい。
- Q.1 顔 muk
 丸い muul
 ・Aさんは顔が丸い。
- 11.4 また「AはCであるBをもっている」と言ってもよい。
- Q.1 ・Aさんは顔が丸い。
- 11.5 この形は匂いや味についても使うことができる。
- Q.1 匂い klən
 いい「匂い」 krooʔoop
 花 phkaa
 ・この花は匂いがいい。
- 11.6 「(ちょっと触ったら、その)ピンは倒れた」では、「ピン」は主題であり、「倒れた」が主題、即ち「ピン」に対する説明、言いかえると、伝えることを目的としている「新しい」情報である。これに対して、「ピンが倒れた！」と叫ぶ時には、文全体が新しい情報である。このように、文全体が新しい情報であり、かつ動詞が(目的語をとらない)自動詞の場合には V + N の形をと

るものがある。

- Q.1 ビン doop
 倒れる duol
 ・ビンが倒れた。
- Q.2 雨 phliəŋ
 落ちる thlêək
 ・雨が降っている。
- Q.3 ・バスが来た。
- 11.7 動詞句がそのままの形で名詞句の働きをすることは前述した。
- Q.1 映画 kon
 ・彼は映画を見るのが好きだ。
- 11.8 しかし、「私が映画を見るのはここだ。」の「の」は、動詞を名詞化しているのではなく、名詞（ここでは映画館）の代用である（とクメール語では考える）ので、クメール語では名詞を補わなければならない。
- Q.1 映画館 ròŋ phèəpjwòn
 ・私が昨日彼女と映画を見たのはこの映画館だ。
- Q.2 ・私が日本に来たのは四月十三日だ。
- 11.9 「の」が場所や時間ではない場合には dael の前の名詞を省略できる。
- Q.1 自動車 rwət jwòn
 ・私が欲しいのはこの自動車だ。
- Q.2 愛する srooləŋ
 髪 sok
 長い vèɛŋ
 娘 kroomom
 ・私が愛しているのは、あの髪の長い人だ。
- Q.3 ・昨日見たのはこの映画です。
- Q.4 ・私が日本に来たのは日本語が習いたいからです。
- 11.10 例えば、日本語の「何」は「何でも食べる」「何もいらぬ」のように未確定であることを示す語である。クメール語でも同じである。
- Q.1 ・ khnom mun cəŋ baan ʔəvəi tèt
- Q.2 ・ khnom mun cəŋ tət naa tèt

- Q.3 • khnom mun cɔŋ cuop nuŋ nɛək naa tɛe
- Q.4 • ʔɔt mɛən nɛək naa muoi mɔk tɛe
- Q.5 koo baan ~てもよい
- nɛək naa mɔk koo baan
- Q.6 pɛel naa 何時
- mɔk pɛel naa koo baan
- Q.7 • tɛw naa koo tɛw coh
- 11.11 次の ruru tɛe の使い方に注意せよ。
- Q.1 • nɛək cɔŋ piisaa ʔɛvɛi ruru tɛe - mun cɔŋ tɔtuol tɛən ʔɛvɛi tɛe
- Q.2 • mɛən nɛək naa mɔk ruru tɛe - ʔɔt mɛən nɛək naa mɔk tɛe
- Q.3 thɔai nih 今日
- thɔai nih nɛək tɛw naa ruru tɛe - ʔɔt tɛw naa tɛe
- 11.12 疑問文の文末に dae をつけると、質問の語調が柔らかくなる。
- Q.1 • tɛw naa dae ?
- Q.2 sombot 手紙
- mɛən sombot mɔk pii naa dae ?
- Q.3 • jɛəŋ cuop knɛə nɛw konlaeŋ naa dae ?

12. 動詞 + 動詞

12.1 動作を列挙する時には最後の動詞の前に haei <そして> を置く。

- Q.1 起きる kraok laeŋ
顔 muk
洗う lòp
歯 thmèn
磨く doh

・起きて顔を洗って歯を磨く。

12.2 「焼いて食べる、歩いて行く」のように、二つの動作間に何らかの関係がある時には、その動詞句を並べるだけでよい。

- Q.1 魚 trei
焼く ?aŋ

・魚を焼いて食べる。

- Q.2 歩く dae

・学校に歩いて行く。

- Q.3 売る lwòk
米 ?əŋkoo
買う tèn

・彼は魚を売って米を買う。

12.3 しかし、前の動詞が不随意動詞の場合は、この構文は使えず、接続詞が必要である。

- Q.1 見える khèəŋ
逃げて行く rwòt cən

・彼は私を見て(そして)逃げて行った。

12.4 二つの動詞の目的語が等しい場合は後の方の目的語を省略する。

- Q.1 捕える cap

・魚を捕えて売る。

12.5 「～しないで～する」も同じように言うことができる。

- Q.1 毎～ rəel -
鞆 kaataap
持つ(to take) jòok

・毎日鞆を持たないで学校に来る。

12.6 「～しないで～した」に baan を使うときには、前の動詞につ

- ける。即ち、mun baan Va+Vb となる。
- Q.1 今日 鞆を持たないで学校に来た。
- 12.7 「VaしないでVb」には Vb daoi mun Va という言い方もあるが、これは翻訳文的である。
- Q.1 手に持つ kan
- ・今日は鞆を持たないで学校に来た。
- 12.8 「Vしておく」には、V + tuk を使う。tuk は〈置く〉という意味の動詞である。
- Q.1
- ・本を机の上に置く。
- Q.2 名前 chmwòh
- メモする kot
- ・名前をメモしておく。
- Q.3 錠 sao
- かける cak
- ・鍵をかけておく。
- 12.9 「Vしてみる」の「みる」には、mèel 〈見る〉を使う。
- Q.1
- ・本を見る。(=本を読む)
- Q.2
- ・この本を読んでごらん。
- 12.10 lòo を使って、V lòo mèel のようにも言える。
- Q.1
- ・この本を(試しに)読んでごらん。
- 12.11 この lòo は動詞の前に置いてもよい。
- Q.1
- ・このクメール語の本を読んでごらんなさい。
- 12.12 引用の「と」には thaa を使うことは前に述べたが、「～か」と、疑問の内容の引用には thaa の代わりに tao を使う。
- Q.1 知る dən
- ・おいしいとわかる。
- Q.2
- ・おいしいかどうか、食べてみる。
- 12.13 「～してくれる、～してやる」という言い方はクメール語にはない。
- Q.1 蜜柑 krooc
- 送る phnae
- ・私は彼に蜜柑を送ってやった。
- Q.2 教える boŋriən
- ・彼は私にクメール語を教えてくれた。

- 12.14 「Aに～してもらった」も、「Aが～した」又は「Aに～させた」のように言う。(使役については後述する)
- Q.1 ・私はA先生にクメール語を覚えてもらった。
- 12.15 「昨夜は眠れなかった」には二つの意味がある。一つは、「寝たけれど、(コーヒーの飲みすぎで)寝つけなかった」である。
- Q.1 昨～ - mən
 夜 jòp
 コーヒー kaafee
 あまりにも pèek
 寝る deek
 眠る lwòk
- ・昨夜はコーヒーの飲みすぎで眠れなかった。
- 12.16 もう一つは「(宿題が多くて)寝なかった」である。
- Q.1 宿題 kəckaa
- ・昨夜は宿題が多くて寝られなかった。
- 12.17 上の「Va mun Vb」の言い方は、Vbが不随意動詞であって、Vaの結果を表している時にのみ使うことができる。もし、Vbが随意動詞の場合には「しかし」のような接続詞が必要である。
- Q.1 会う cuop
- ・彼に会いに行ったが会えなかった。
- Q.2 ・魚を捕ったが売らなかった。
- 12.18 「Vできる」は、baan <得る>を使って、「Vして(それを)得る」のように言う。
- Q.1 お金 lui
 映画 kon
- ・今日は金がある。映画に行ける。
- 12.19 baan は、日本語と同様、「許可」も表す。
- Q.1 母 mae
- ・お母さん、映画を見に行ってもいいですか。
 - だめです。
- 12.20 特に ?aac を動詞の前につけることがある。
- Q.1 物 ?əivan
- ・私はクメール語で(=を使って)買物ができます。
- 12.21 koo baan は、「～てもよい」。

- Q.1 ~しなければならぬ
- ・私も行かなければなりませんか。
 - 行ってもいい、行かなくてもいい。
- 12.22 koo mun ?ei dae はく~しても構わない。
- Q.1 ・映画をに行っても構いませんよ。
- 12.23 「学習の結果、できること」には ceh + V を使うこともある。 ceh はく知る> であるから、「~のし方を知っている」に相当する。
- Q.1 話す niijèei
- ・あなたはクメール語が話せますか。
 - 話せません。
- Q.2 ・私はクメール語が話せるようになった。
- 12.24 ruoc はくなしとげる> であり、V ~ ruoc は、能力が充分にあるかないかということを示す。
- Q.1 石 thmoo
- 持ち上げる lèək
- ・あなたはこの石が持ち上げられますか。
 - 持ち上げられません。
- 12.25 kaet はく生じる> であるから、「成就するか否か」を示す。
- Q.1 未だ mun toən
- 有能だ puukae
- ・私は未だクメール語が上手でなく買物ができません。
- 12.26 形容詞が動詞を修飾している構文、動詞+形容詞、は形容詞が前の動詞の動作の結果を表していると考えられることもできる。
- Q.1 はっきりだ cbah
- 話す niijèei
- ・はっきり話す。
- Q.2 ・彼はクメール語をはっきり話す。
- Q.3 ・彼のクメール語ははっきりしない。(=彼はクメール語を話すとはっきりでない)
- Q.4 ・(はっきり言いたくなくて)彼はあいまいに話した。
- Q.5 速い luən
- 走る rwət
- ・彼は走るのが速い。

- Q.6 ・彼は走るのが遅い。(速く走れない)
- Q.7 ～だから pròh
 子供 koon
 ・彼は速く走らない。子供が速く走れないから。
- 12.27 「速く歩きなさい」の「速く」は努力目標である。このような場合には ?aoi ～く～させる> を使って、動詞 + ?aoi + 形容詞のように表現する。
- Q.1 歩く daə
 ・さっさと歩け。
- Q.2 一生懸命～する khom
 ・彼は一生懸命に速く走った。
- 12.28 ?aoi は動詞の前に使うこともできる。
- Q.1 ・クメール語を一生懸命勉強して話せるようにします。
- 12.29 tət <行く> mòok <来る> は話し手から見ての動作の方向を示すのに使われる。
- Q.1 送る phnaə
 ・送っていく
- Q.2 ・送ってくる。
- Q.3 蜜柑 krooc
 ・彼は私に蜜柑を送ってきた。
- 12.30 数量を表す語が動詞を修飾するときには、上の tət, mòok の後に来る。
- Q.1 ・彼は私に蜜柑を十キロ送ってくれた。
- 12.31 又、結果を表す動詞がある場合には、数量を表す語はその動詞の後に置く。
- Q.1 ～時間 - maon
 ・昨夜は十時間寝た。
- Q.2 ねずみ kondaο
 ・ねずみを十匹捕えた。(= 捕えて得た)

13. 使役・他動詞・受身

13.1 「NにVさせる」は ?aoi + N + V。

Q.1 ・私は子供にクメール語を習わせる。

13.2 「NにVaするようにVbする」は Vb N ?aoi Va、即ち「NにVbしてVaさせる」のように言う。

Q.1 命令する boncèe

・子供にクメール語を習うように命令する。

13.3 「NaにVaさせるようNbにVbする」は当然、Vb Nb ?aoi Na Va
即ち、「NbにVbしてNaをVbさせる」と言う。

Q.1 政府 roetphibaal

父 ?əwpuk

母 mdaai

・政府は親に子供を学校に行かせるように命令する。

13.4 上に述べた ?aoi N V は「NにVする気をおこさせる」ということである。従って、Nが非生物とか、Vが不随意動詞の場合には ?aoi は使えない。この場合には thvèe ?aoi を使う。

Q.1 ビン doop

倒れる duol

・私はピンを倒れさせた。

Q.2 水牛 kroobei

死ぬ slap

・水牛を三頭死なせた。

Q.3 暗い ɲòɔŋɯt

・部屋を暗くする。

13.5 随意動詞の場合でも thvèe ?aoi を使うことができる。この場合には、やる気がない相手に対して、何かをすることによって、その結果、それをやる気をおこさせる、という意味になる。

Q.1 ・彼は子供を学校に行かせた。

13.6 ある事柄がある事柄をひきおこした場合にも、この thvèe ?aoi を使うことができる。

Q.1 殺す somlap

自分自身 khluon

・彼女がAと結婚したことがBを自殺させた。

13.7 しかし、noəm ?aoi <～をひきおこす>の方をよく使う。

- Q.1 彼女がAと結婚したことが彼をBと結婚させた。
- 13.8 例えば、「落す」には二つの意味がある。ひとつは故意に落すことである。この場合には、他動詞 tòmliək を使う。
- Q.1 ハンカチ kɔnsaenj dai
・彼女はハンカチを落した。(古典的手段)
- 13.9 もうひとつは「なくした」で、落す意志は無かったのであるから、他動詞は使えず、thvəə thlɛək と言う。
- Q.1 ・彼女は(どこかで)ハンカチを落した。
- 13.10 何かをしていて、うっかり落した場合には「落ちさせた」と言う。
- Q.1 皿 caan
洗う lèəŋ
・彼は皿を洗っていて落した。
- 13.11 しかし、「皿が落ちた」のように言う方が普通である。
- Q.1 割れる baek
・彼は皿を洗っていて落して割った。
- 13.12 第二の動詞が第一の動詞と意味上関係づけられる場合には V + V、即ち、第二の動詞が第一の動詞の目的語についての結果を表す構文を使うことができる。
- Q.1 アイロンをかける ?ut
焦げる khlaoc
・シャツにアイロンをかけていて焦がした。
- Q.2 叩く vèi, vai
死ぬ slap
犬 chkae
・犬を叩いて殺してしまった。(殺す気はなかった)
- Q.3 ・犬を殴り殺した。(殺す気があった)
- Q.4 妹 pʔoon srəi
泣く jòm
・犬を叩いたら死んじゃって妹を泣かしてしまった。
- 13.13 təw / mòok + V は「Vしに行く/来る」で、目的を表すことに前に述べたが、təw, mòok の後に場所を表す語があると、目的を表すのかどうかははっきりしない。
- Q.1 ・カンボジア語を勉強に行く。

- Q.2 ・カンボジアにカンボジア語を勉強に行く。
- Q.3 ・カンボジアに行って、カンボジア語を勉強する。
- 13.14 「～するために」には daembei ～を使う。
- Q.1 ・カンボジア語を勉強するためにカンボジアに行く。
- Q.2 貯める sonsom
- ・カンボジアに行くために貯金する。
- 13.15 daembei の後の動詞は、主語の意志でできる事柄でないとい
けない。もし不随意動詞の場合には daembei ?aoi (baan)
と使役形にする。
- Q.1 病気がなおる cèə
早い chap
薬 thnam
- ・病気が早くなおるように薬を飲む。
- Q.2 試験を受ける proolooŋ
合格する proolooŋ coəp
一生懸命 khom -
- ・試験に合格するように一生懸命勉強する。
- 13.16 daembei の後の主語が主文の主語と異なる場合にも（主文の
主語にとっては不随意であるから）使役形にする。
- Q.1 自転車 koŋ
乗る cih
- ・（自分が）学校に乗って行くために自転車を買う。
- Q.2 ・子供が学校に乗って行くために自転車を買う。
- 13.17 「NにVされた」という受身は、trew + N + V となる。
- Q.1 ・私は学校で先生に叩かれた。
- 13.18 しかし、クメール語の受身は、望ましくないことを表す動詞に
のみ使うのが原則である。（ただし、最近では望ましいことを表
す動詞にも使われる例があるが、翻訳体である）
- Q.1 ほめる soosae
- ・私は学校で先生にほめられた。
- Q.2 叱る sdei bontòoh
- ・私は学校で先生に叱られた。
- 13.19 動詞そのものが被害の意味が無い場合には、受身にはしないの
普通である。

Q.1 秘密の somɣat
手紙 sɔmbot

・私は秘密の手紙を母に読まれてしまった。

13.20 「両親に死なれて孤児になった」のような、「被害を表す自動詞の受身はクメール語には無い。

Q.1 孤児 komprèə
～になる tɛw cèə

・彼は両親に死なれて孤児になった。

Q.2 友人 muət

・昨日は友人に來られて勉強ができなかった。